

特進 1 年生

現代文	①副教材『現代文解放のテクニック』4～25 ページまでを課題用ノートを作成し解答。その後解説をよくよみつつまるつけし復習すること。始業後最初の現代文の授業で提出を求める。 ②『国語総合』の中の『水の東西』、『人は独創的でありたいか』の意味調べをしておくこと。なお、推奨辞書は『ベネッセ表現読解国語辞典』です。これから購入する人は参考にしてください。
古典	『古典文法』P 8～4 6 に目を通して、読んでおきましょう。
情報の科学	・情報のノート(ワーク)P1-2を解く。 ・授業時にコンピュータのパスワードを設定します。そのパスワードを考えておく。(8ケタ以上・アルファベットと数字を入れる)
数学	・PRIME 数学 I +A 問題番号1 ～ 43 ・中学校内容の徹底的復習 授業で話した通り、学力向上の本質は自学にある。授業を含めた学校生活がなくなったことをネガティブに捉えるのではなく、自学の時間が確保できたとポジティブに捉えよう。ともに頑張るぞ。さあ、やってみよう！
英語	① be Lesson2～Lesson7 までの予習をする(文法書・be テキスト左ページをよく読み、テキスト右ページの EXERCISE をノートに解く。やりかたは春期講習に指示した通りです。訳のない問題は日本語訳までやる。わからない単語は調べること。) <u>学校再開初日にノートを回収します。</u> ② be テキスト最後のページにある動詞の活用全てを各自しっかり覚えること。5 月にテストをします！！ ③ 余裕があるひとは be 文法書の check 問題にも目を通してみてください。
生物基礎	・「ニューグローバル生物基礎+生物」の 1 章生物の特徴 P③～P5、2 章遺伝子とそのはたらき P2 2～P2 7 をワーク用ノートを用意し、そのノートに解くこと。(丸つけまですること) 提出は最初の授業時
世界史 A	・「自ら学び、考え、表現する」ことで「思考力・判断力・表現力」を伸ばすのが、この授業のコンセプトです。 ・授業は近現代から始めます。 ・教科書 p136～137 を、一小単元(見開き 2 ページ)をノート 1 枚に、要点を抑えてまとめること。 授業で点検 します。

特進 2 年生

現代文	①副教材『現代文解放のテクニック』4～23 ページまでを課題用ノートを作成し解答。その後解説をよくよみつつまるつけし復習すること。始業後最初の現代文の授業で提出を求める。 ②『現代文 B』(教科書)中の『生の音楽という幻想』の意味調べと要約をしておくこと。
古典	1. 読み解く古文 2・文法ノート：1～1 1 (P 1～1 7) 2. 読み解く古文 2 (本冊)：1～3 (P 4～9) 3. LT 漢文・標準：1～5 (P 4～1 3) 4. 日々古文単語帳 3 6 5：卯月(P 2 2～5 1)の範囲を覚える ・1～3 は 授業開始日の朝に提出 。直接書き込んでかまわない。 ・4 については 初回の授業で確認テストを行う 。 ・春休みの課題は、 始業式の日 に提出。
英語	①休み明け、比較・仮定法のテストをそれぞれの単元で実施します。土曜講習での実施を予定しています。それに向けて復習をしておくこと。不合格者は再テストとペナルティがあります。(重要) ②否定(1)のワークを○付まで完了しててください。 ③否定の(2)の予習を進めておきましょう。 ③コーパスも遅れています。Stage3 を各自進めておきましょう。
数学	・PRIME 数学 I +A 各単元の「入試にチャレンジ」(←初回授業で提出) ・上記課題を解いた上で感じたことを行動にうつす。

	学力向上の本質は自学にある。授業を含めた学校生活がなくなったことをネガティブに捉えるのではなく、自学の時間が確保できたとポジティブに捉えよう。高校3年生で復習するはずだった内容を前倒しでやっているのだと捉えよう。私もこの期間を将来の君たちに還元できるように努力したいと思います。ともに頑張るぞ。さあ、やってみよう！
物理選択	既習の物理基礎の復習（特に、鉛直投げ上げ、投げおろし）
生物選択	免疫の分野の予習をしてくること。内容は以下の通り。 ・ニューグローバル P.86～103 まで、教科書やニューグローバル(まとめ編)を見ながら実施。ノートかルーズリーフかは問わない。丸付けをして初回授業で提出。 ・わからないことは授業で解決できるようにメモしておく。 ・最初の方の授業は生物基礎の教科書を使う。持参するように
日本史 B	「高2 文理特進日本史 B 課題」を指示通り取り組むこと。
地理 B	・ニューコンパスノート（教科書・資料集を参照して解答のこと） 1. 地理的視野の拡大 ※教科書 p.6～8,330～331、資料集 p.14,15,18,19 を参照 2. さまざまな地図投影法 ※教科書 p.12～13,332、資料集 p.20 を参照 3. 地球と時差 ※教科書 p.9～11,333、資料集 p.16,17,34 を参照 4. 地図の種類 ※教科書 p.14～17、資料集 p.24,25 を参照 ・白地図作業帳 2～3 ページ

特進3年生

かなりの量なので計画的に取り組みましょう。どの科目も以下の内容が終わっていることが前提で授業を始めます。
※やった分だけ必ず自分に返ってきます。この期間で一皮も二皮も剥けた君たちを待っています！がんばれ！！

現代文	①休業前の土曜講習等で示した方法で大学入試問題をノートに解くこと。始業後最初の現代文の授業で提出を求める（解く数は必要数を自分で考えること）。 ②『現代文 B』（教科書）中の『建築論ノート』の意味調べと要約をしておくこと。
古典 クラス 共通	☑『速戦ゼミ 入試頻出新国語問題総演習』 P 1 6 0 ～ 1 6 9、2 4 2 ～ 2 5 0、2 9 2 ～ 3 0 3、1 7 0 ～ 1 7 9 …学校再開後、小テストを随時実施していくので、その勉強をしておきましょう。 ☑2 年次使用副教材 『読み解く古文 2』、『L T 漢文標準』できるところまで …もう一度ノートに書き直して、2 年時までの復習をしておきましょう。
数学 クラス 共通	①日々題を進める。終わり次第 3 周目 or 自分で設定課題に移行。負荷は各々で考え、自分のためになるように進めること。他教科とのバランスに注意。 ②I シリーズ（I A / II B）B 問題の解きなおしと扱いきれなかった B 問題全てを解く。 ③ちしきんぐは、この期間にすべて覚える。基本 3 年生は授業時間に抜き打ちテスト（当日朝に告知） 提出は特進 3 年の授業開始日（①と②、文系数学の予習も）
数学Ⅲ	①Prime の p.53～65 の B 問題を全て解く。ノートで提出。 ②教科書の巻末 p.268 は以前言った通り、演習で使う。
文系 数学	「Set Up」見開きの左ページを 1 日 1 ページ 本日 から解く。文系数学専用のノート(B5)を作成し、記述式。右ページを授業内で扱うための予習となる。
英語 クラス 共通	休み明け、upgrade のテスト（後藤作成）を行います。それに向けての勉強をしておきましょう。（課外の時間・G の時間を利用して実施） 日時は後で連絡しますが、いつ実施してもいいように！ テスト①基本動詞の熟語 ②前置詞でつかむ熟語 ③副詞でつかむ熟語 ④重要熟語の整理 ⑤会話

	Upgrade part3 語い (26 多義語・27 文をつなぐ語句 28 重要語いの整理) を各自で勉強しておきましょう。問題演習もやっておくといいですね。 この単元も、授業で説明しなくてもある程度各自で進められるところです。また、知識として重要な単元でもあります。受験勉強の一環としてやろう。 2020 年度の各検定試験について、日程の変更が生じているものもあります。各自ホームページで確認してください。尚、昨年実施した GTEC アセスメント版の検定版を学校実施で 7 月 18 日 (土) に実施することができるようになりました。学校再開時に改めて案内しますが、締め切り期日が迫っていますので、受験必要の有無を各自確認しておくようにしてください。
英語特講	UP GRADE で文法の復習をしておくこと。特に①時制②仮定法を重点的にやりましょう。
日本史 B	① 講習期間中に配布済みの「宝暦・天明期の文化」プリント ② 授業再開後の小テスト対策の学習
地理	ニューコンパスノート 60～70 (東アジア～オセアニア) ※ 習っていない部分がありますが、教科書・資料集の該当箇所を調べながら解答すること。
倫理	ワークノート、実教出版『高校倫理 新訂版準拠 高校倫理 新訂版 演習ノート』の pp4～12 が対象 ①まだ履修前のため、教科書の該当ページ (ワークノートに記載) を参照しながら、行うこと。 ②ただし p6 問題演習, p10 問題演習, p11 の章末問題は何も見ず、独力で解くこと。 ③ワークノートに直接書いても、ルーズリーフ etc の別紙に書いても良い。様式は任意。 ④その後のことは、休校明けに授業内で指示を行う。
政治経済	「要点マスター」 P2～P13 を、教科書を参照しながら予習しておくこと。
現代社会	「ワークノート」 P24～P32 を、教科書を参照しながら予習しておくこと。
化学	改訂版化学(教科書)の予習を進める。範囲、やり方は以下の通り。提出は初回授業時。 ・教科書を読み、独自にノートをとめる。どこまで予習しても構わないが、最低でも P.6～43 までには行うようにする(発展は除く)。まとめの形式は自由。ノートでもルーズリーフでも構わない。わからない箇所はノートにメモをしておき、登校開始時に解決できるようにしておく。 ・例題や類題、問、演習問題もすべて実施しておく。
化学基礎 特講	「大学入学共通テスト対策 チェック&演習 化学基礎」 各章 (第 1～6 章) の前半にある要点チェック、正誤チェック、重要例題を解き、ノートに書く。 休校あけの授業で、この範囲の内容で確認テストを実施します。
物理 物理基礎	今までの内容の復習。セミナー、エッセンス、良問の風、重要問題集など、自分に必要なものを考え取り組む。 提出は不要。面談時、成果を担任に見せること。
生物	第一学習社 「セミナー 生物基礎+生物」 第 6 章「細胞と分子」、第 7 章「同化」、第 8 章「異化」、第 9 章「遺伝情報の発現」この範囲のプロセス、基本例題レベルの小テストを学校再開後すぐに行います。(要は基本的な現象、用語をしっかりと復習してほしいということです。) Classi が始まったら、使用するテキストの問題などを配信し、チェックしていきます。それに備えて、復習しましょう。
生物基礎	数研出版「大学入学共通テスト対策 チェック&演習 生物基礎」の 第 1 編 (P.4～27、要点チェックと重要例題と 1～27) をノートもしくはルーズリーフに解く。答えだけでなく、途中経過もちろん書いてよし。そのノートは初回授業で提出してもらいます。解いた上で自分なりの復習を行うこと。学校再開後すぐにその範囲の小テストを行います。
聖書	証。次に学校にくる日に担任に提出 (いつ提出となってもいいように、書いておくこと)
進路関係	予定されていた進路希望調査を実施できていません (三者面談も)。この間、改めて家族と話し合い、進路希望 (特に第 1 希望, 第 2 希望の大学, 受験科目や配点等) を「志望校確定シート (2 枚)」を軸に考えておいてください。

